

## 「公的病院幹部を対象とした医療経営人材養成プログラム」概要

公的病院等が地域医療を守るために社会から期待される診療機能の役割を果たし、かつ持続可能な医療を提供するために病院経営力を養う医療経営人材養成プログラムを下記の要領で企画・実施する。

プログラム名称	公的病院幹部を対象とした医療経営人材養成プログラム
企画・運営	HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センター
企画責任者	西田在賢（県立広島大学特任教授、静岡県立大学名誉教授）
受講対象者	広島県内外の公的病院の幹部あるいは幹部候補
募集人数	25名程度
受講期間／ 受講日程・時間	【2021年度の開講予定】 2021年10月から2022年2月（予定）／ 隔週土曜日 10:30~17:50、全10回（90講義×40コマ）
カリキュラム編成 （計60時間）	①「医療経営リテラシー」（12時間） ②「医療経営の原理」（12時間） ③「医療の事業経営」（36時間）
講師	本学、他大学、実務家教員で編制 *実務家割合：58%
運営方法	対面とオンライン（リアルタイム）による開講

### 【公的病院及び受講対象について】

全国に8,200余りある病院のうち公的病院は1,500余りである。また公的病院の経営幹部には院長、副院長、看護部長、事務部長の職位の人たちがおり、大病院だと診療科長、看護師長、事務次長等が経営幹部候補となり、このような人々が本プログラムの受講対象者となる。

### 【HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターの活動実績】（2017年12月開設）

2018年度：広島県内の幅広い医療関係者に向けた公開セミナー（5回）を企画開催し、延べ500名以上の参加者を得た。

2019年度：公立・公的病院の再編統合課題に関連して、国の地域医療構想の推進に対応して公的病院の経営力を高めるための段取りを考える機会として、広島県内公立・公的病院の病院長を対象とした「広島県内公的病院経営トップアカデミー・病院経営幹部人材養成プログラム・院長編」（毎月1回土曜日終日、全4回）を企画して11病院の院長の参加を得た。

2020年度：「広島県内公的病院幹部を対象とした医療経営人材養成プログラム」（隔週土曜日終日、全10回、90講義×40コマ）を広島県健康福祉局から受託し、16病院から25名の受講者を得て企画開催した。